

英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業
 戦略的原子力共同研究プログラム
 事後評価総合所見

研究課題名：ウラン選択性沈殿剤を用いたトリウム燃料簡易再処理技術基盤研究 代表研究者（研究機関名）：鷹尾 康一郎（東京工業大学） 研究期間及び研究費：平成27年度～平成29年度（3年計画） 30百万円	
項目	要 約
1. 研究の概要	<p>使用済トリウム燃料溶解条件におけるU(VI)およびTh(IV)の沈殿剤との化学的相互作用や溶解基礎物性の解明とそれらの相互分離実証試験を行い、ウラン選択的沈殿剤を用いたトリウム燃料簡易再処理基盤技術の開発を目的とし、以下の研究開発を行う。</p> <p>1) ウラン沈殿の構造特性および溶解基礎物性の解明 2) U, Th沈殿挙動の解明</p>
2. 総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沈殿法再処理を目指して、アクチノイドの錯体化学に基づき、硝酸ウラニル沈殿剤の分子設計を行い、当初の目的よりも高い性能を有する、これまでにない高効率の硝酸ウラニル沈殿剤の開発に成功している。 ・低濃度のウラン領域で比較的大きな回収率を達成しており、今後の進展が期待される。 <p>S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p>